

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年9月21日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月21日の原子力規制庁、定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿いまして説明を申し上げます。

明日の委員会の定例会の議題は2つです。

議題の1つ目、要改善事項及び是正処置の状況の報告ということになりまして、これは8月25日の委員会で、昨年度の要改善事項を何十件かまとめて報告したときに、重要な案件は早めに委員会に報告するよという指摘を受けたことを踏まえまして、今後、どういう案件を個別に委員会に報告して、どういう案件は年間まとめて報告するのかわかるといった、そういうことの方針を諮るといものになります。

次、議題の2つ目、緊急時の甲状腺被ばく線量モニタリングに関する検討チームからの報告ということですが。

これは、検討チームの報告書がまとめられましたので報告をするということになりまして、報告書の中ではモニタリングの対象者とか測定方法、実施体制などを定めているものになります。今後、そういった報告書の内容について、その一部は原子力災害対策指針へ反映するというので、それに向けた検討作業を進めていくということになります。

明日の委員会は、前回も申し上げましたけれども、委員長海外出張のため不在で、田中委員が司会で、委員会後の会見も田中委員がされます。

来週の29日の委員会は、委員長は帰国されていますけれども、隔離期間中なので、委員会にはウェブで参加をして、会見もウェブでやるということになります。

次が、裏に行きまして、9月27日の（4）第416回の核燃料施設等の審査会合ということになります。議題は2つありまして、ともに日本原燃関係ということですが。

議題1の、再処理施設の変更許可、これは有毒ガス防護のバックフィット案件ということですが。4月に申請があったもので、6月28日の審査会合で出したコメントへの回答を受けるといことになります。

議題の2つ目、加工施設の設計工事計画認可、これは8月31日に申請がありました、5割分割の申請で来るようですがけれども、その5割目の初会合ということになるよう

あります。

最後に、皆さん関心が高いであろう柏崎刈羽についての東電からの報告についてですが、これは明日東電から提出がある見込みで、現在、時間は調整中と聞いています。時間が何時になるかというのは、今日の夕方頃に発表する予定と聞いております。

こちらからの説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

エンドウさん、お願いします。

○記者 新潟日報、エンドウです。

最後に言及のありました東電の報告書についてなのですが、あした提出見込みということなのですが、受け取る方は規制委員会側でどなたで、東電側はどなたかというのは。

○黒川総務課長 それもすみません、発表まで待っていただければと思います。

○記者 分かりましたら。

○司会 ほかにございますでしょうか。

では、カワムラさん、お願いします。

○記者 朝日新聞のカワムラです。

今の関連で、報告書を受け取って、以前、4月時点では、報告書の内容を確認して、確認結果を審議するというような流れだったと思うのですが、そのあたり、今後の展開といいますか、どうなるのか分かる範囲で教えてください。

○黒川総務課長 まだ中身次第で分からないところもありますけれども、まずは公表できるものもある程度あるのしょうから、それを次回、9月29日の委員会にかけるのではないかと考えています。

それはその中身、要は、公開できない中身の議論というよりは、公開できる部分ということで、あと、中身の方針みたいな話は、なかなか公開の場ではできない部分もありますので、非公開の場でということになってくると思います。そういう公開の場で議論する部分と、非公開の臨時会で議論をする部分を、組み合わせながらといいますか、公開できないものは当然非公開の場でやりますけれども、外向けにどう見せていくかというのも重要な部分になりますので、そういうのを使い分けながらやっていくんだろうと思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございます。

た。

—了—